

(2023年8月9日配信)

NHK ラジオ深夜便

〔深夜便アーカイブス〕 【終戦の日シリーズ】

8月11日(金) 1時台放送

出演 放送ライター 笹本 妙子さん

～ 平和への橋渡し ～

聞き手 坂口 憲一郎

ライターの笹本妙子さんのお話です。



40年ほど前、たまたま横浜市保土ヶ谷区に住み始めた笹本妙子さんは、近所に、外国風の広大な墓地があるのを知り、不思議に思っていました。近所で尋ねてみても、エリザベス女王やダイアナさん、サッチャーやブレア首相も弔問に訪れたらしいというものの、、、、詳しいことはわからず、、、、たまたま、英連邦捕虜追悼礼拝の新聞記事を目にしたことから、、、、捕虜？なぜこんなに多くの捕虜が埋葬されているのだろうか、ますます疑問が深まります。この疑問が、POW研究会(捕虜問題研究会)を立ち上げ、全国に130か所も捕虜収容所があったことを知るきっかけになったのです。日本軍は、太平洋戦争初戦の勝利で、多くの連合軍兵士を捕虜にし、そのうちの約5万人を日本に護送。途中アメリカの潜水艦の攻撃などもあり、日本にたどり着いたのは3万5000人ほど。彼らは日本各地の工場、炭鉱、ダム建設などで強制労働させられ、栄養失調や衰弱、病気など、終戦までの3年間で、3000人が命を落としたのです。戦後70年以上過ぎてもなお、戦争のトラウマで、日本人に対する恨みを持ち続ける人もいて、交流には困難が伴います。笹本さん達は、アメリカやイギリス、オランダを尋ね、日本に慰霊や弔問に訪れる捕虜関係者の子や孫の案内や世話にもあたり、ボランティアとして一歩一歩前に進んでいます。

◀編集室から▶ 編集 高舘千枝子 tchieko@cocoa.ocn.ne.jp

◇感想の送り先 sakaken1943@gmail.com (坂口 憲一郎)

◇7月23日(月)

第47回 夏祭私たちの音楽「鎮魂の歌をハソウと共に歌う集い」に出演。
坂口宗憲さんが唐丹希望基金から派遣された唐丹中学校卒業生 上野雅幸君(他)と共にハソウを吹きました。西日本豪雨への募金も呼びかけました。

